

近鉄四日市駅北自転車等駐輪場防水改修ほか工事

意 匠

図 番	図 面 名 称
A- 01	特記仕様書(改修1)
A- 02	特記仕様書(改修2)
A- 03	特記仕様書(改修3)
A- 04	特記仕様書(改修4)
A- 05	特記仕様書(改修5)
A- 06	特記仕様書(改修6)
A- 07	付近見取図・配置図・外部仕上表
A- 08	仮設計画図
A- 09	1階平面図
A- 10	2階平面図
A- 11	地下1階平面図
A- 12	屋根伏図
A- 13	立面図1
A- 14	立面図2
A- 15	矩計図
A- 16	詳細図
A- 17	展開図
A- 18	1階建具キープラン
A- 19	2階建具キープラン
A- 20	地下1階建具キープラン
A- 21	建具表

近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事特記仕様書								
総 則 工 事 概 要 1. 工事場所 四日市市_安島二丁目地内 2. 工事種目 防水改修、外壁改修工事 1. 共通仕様 (1)図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「改修標仕」という。)による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「標仕」という。)による。 2. 特記仕様 (1)項目は、○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、◎印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3)特記事項に記載の [. . .] 内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4)特記事項に記載の (標 . . .) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 部 分 完 成 ○無 ・有 () 部 分 引 渡 し ○無 ・有 () 1) 保険 及 び 保 証 ○建設工事保険 (保険証の写しを提出) ○請負業者賠償責任保険 (保険証の写しを提出) (○管理財物担保特約に加入のこと) ・任意にて加入 下記の制度について加入すること。 ○法定外労災補償制度 (加入証明書の写しを提出) ○建設業退職金共済制度 当初の請負金額が500万円以上の場合は、掛金収納書を提出すること。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を提出すること。 共済証紙購入額 請負金額の 1/1000以上 なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする ・任意にて加入 ◎資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項 資材の購入及び工事の一部を下請け業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、出来る限り市内業者を優先させること。			⑥ 発生材の処理 ・引渡しを要するもの () [1.3.12] ・特別管理産業廃棄物 ※無 ・有 () 処理方法 () ・特定建設資材の搬出 再資源化等を行う (再資源化が困難な場合には縮減) ・特定建設資材以外の搬出 ・構外搬出適正処理 ※廃棄物管理票 (マニフェスト) 確認表を作成し、監督職員に A 票及び D 票もしくは E 票の確認を受けるものとする。ただし、電子情報処理組織に登録 (電子マニフェスト) により確認を行う場合は、この限りではない。 ※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告 (位置図等) を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。 交通安全管理 交通誘導員 (※配置する 1 名以上 (大型車の出入は必ず) ・配置しない [1.3.9]) ・交通誘導警備員 A ※交通誘導警備員 B ※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又は同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ・品質及び性能を試験により証明を求める材料は以下の物とする。 [1.4.5] () ⑧ 建築材料等 ⑨ 化学物質を発散する建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の 1) から 5) を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、パーティクルボード、MDF、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上り塗料は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンキシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1) 及び 4) の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ① J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ ☆ 規格品 ② 建築基準法施行令第 2 0 条の 7 第 4 項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のある J A S 規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ① J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ ☆ 規格品 ② 建築基準法施行令第 2 0 条の 7 第 3 項による国土交通大臣認定品 ③ 旧 J I S の E o 規格品 ④ 旧 J A S の F c o 規格品 ⑩ 特別な材料の工法 改修標仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。			⑪ 石綿含有建材の調査 事前調査 (有資格者) ※行う ・行わない [1.5.1] 調査結果報告書等の貸与 ・有 ○無 分析調査 ・行う (対象箇所:) ※行わない ※定性分析 ・定量分析 ※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について (令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 ※事前調査及び分析調査は、それぞれ厚生労働大臣が定めるものが行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。 ⑫ 技能士 ※適用する ・適用しない [1.7.2] ・鉄筋施工 ・型枠施工 ・鉄工 ・塗装 ・左官 ※防水施工 ・建築大工 ・サッシ施工 ・内装仕上げ施工 13 化学物質の濃度測定 施行完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン [1.7.10] エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、スチレンの濃度を測定し報告すること。 測定は、パッシブ型採集機器により行う。 着工前測定 ・行う ・行わない 測定対象室 ・図示 ・ 測定箇所数 ・図示 ・ 採取方法 ・文部科学省の定めるところによる。 ・ 報告書の様式 濃度測定記録表の記載事項は、次のとおり 1. 工事名 2. 測定年月日 3. 天候 4. 測定前の換気及び閉鎖時間 5. 測定時間 6. 室名と測定時間 7. 測定器具 8. 化学物質採取方法 9. 分析装置 ⑭ 完成図 ・提出する ※提出しない [1.9.1～3] 種類 ※改修標仕 表 1.9.1 による ・ ・配置図及び案内図 ・各階平面図 ・各立面図 ・断面図 ・仕上表 ・施工図 ・施工計画書 ・ ※ C A D データの提出 ※提出する ・提出しない ・保全に関する資料 提出部数 ※ 1 部 ・ ・製本図面 提出部数 ※1部 ・2部 ・3部 ⑮ 記 録 工事記録については以下による。(A4版) ※工事着手前写真 1 部 ※工程写真 各工程毎 1 部 ※竣工写真 ※内部、外部 2 部 ※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うよう努めること。 ※工事日報・納品伝票等の写しは、監督職員が提出を求めた場合は提出すること。 ⑯ 設備工事との取合い 施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 17 設計 G L ※図示のベンチマーク (B.M) mm (現状地盤は B.M mm) ⑰ 完成引渡し後の点検 かし期間は、別に定めた特約 (責任施工による保証期間など) を除き、四日市市工事請負契約書に準拠する。 ○工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を超えない範囲の適当な時期に、双方立ち会いて工事目的物のかし点検を実施する。 19 随時検査 予定価格 (税込) 3000 万円以上の工事は、四日市市検査規程第 8 条第 6 項の規定により、発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること ⑱ 施工体制台帳の提出 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、警備事業者についても記載すべき下請負の範囲に含むものとする。 21 資源有効利用促進 ※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律 (平成三年法律第四十八号) の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合 (下記内容該当工事) は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。 ・建設副産物を搬出する際の計画 1. 土砂500m3以上 2. コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上 ・再生資材を利用する際の計画 1. 土砂500m3以上 3. 加熱アスファルト200t以上 2. 碎石500t以上		
			工事名					
			近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事					
			日付	図面名	縮尺			
			2026年7月	特記仕様書 (改修 1)	A-01			
			令和8年7月版					

※産業廃棄物税		
本工事には産業廃棄物税相当が計上されていないため、		
受注者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象とな		
った場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付		
して、本工事により生じた産業廃棄物税相当を請求する		
ことができる。		

四日市市都市整備部営繕工務課		
一級建築士 登録 第 号		
四日市市諏訪町 1 番 5 号		

2章 仮設工事	①足場その他	内部足場 種別 ※きやつ、足場板等 〔2.2.1〕 外部足場 種別 ※くさび緊結式（手すり先行工法） 〔2.2.1〕 防護シートによる養生 ・行わない 騒音・粉じん等の対策 ①行う ※1類 （・帆布製 ※網地製） ②行わない ・行う（・防音パネル ・防音シート）〔2.1.3〕 材料、撤去材等の運搬 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 〔2.2.1〕〔表2.2.1〕	⑤塗膜防水	〔表3.1.1〕〔3.6.2～3〕〔表3.6.1～表3.6.2〕				5浮き部改修工法	〔4.1.4〕〔4.3.11～16〕〔表4.3.5～6〕																				
	②養生その他	既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 〔2.3.1〕 固定家具等の移動 ※行わない ・行う（図示）		防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水層の種別 仕上げ塗料等 ローラー工法 折板屋根 高強度ウレタン塗膜防水（有、通熱トップコート（日射反射率50％以上）） 仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 既存塗膜防水層表面の仕上塗料の除去（L4X工法） ・除去する 〔3.2.6〕 脱気装置 ①設けない ・設ける 施工標識 ※設ける ②設けない					改修工法の種類 （モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数（本/m ² ）	注入口の箇所数（箇所/m ² ）		充てん量																
	3仮設間仕切り	（a）設置箇所 ※図示 〔2.3.2〕〔表2.3.1〕 <table><tr><th>種別</th><th>下 地</th><th>仕上材（厚さ mm）</th><th>充てん材</th><th>塗 装</th></tr><tr><td>・A種</td><td>※軽量鉄骨</td><td>・合板（※9.0 ・ ）</td><td rowspan="2">厚さ mm</td><td>※無し</td></tr><tr><td>・B種</td><td>・木下地</td><td>※せっこうボード（※9.5 ・ ）</td><td>・片面</td></tr><tr><td>・C種</td><td>単管下地</td><td>防災シート</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>仮設扉</td><td>※木製扉 ・鋼製扉</td><td>・合板張り程度 ・片面フラッシュ程度</td></tr></table>		種別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装	・A種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0 ・ ）	厚さ mm	※無し	・B種	・木下地	※せっこうボード（※9.5 ・ ）	・片面	・C種	単管下地	防災シート			仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	・合板張り程度 ・片面フラッシュ程度	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・	
種別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装																									
・A種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0 ・ ）	厚さ mm	※無し																									
・B種	・木下地	※せっこうボード（※9.5 ・ ）		・片面																									
・C種	単管下地	防災シート																											
仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	・合板張り程度 ・片面フラッシュ程度																											
④監督職員事務所	・設ける 規模等は以下による ・既存施設の一部を使用する ②設けない 〔2.4.1〕 （・規模 m程度 ・仕上げ：床 ・壁 ・天井 程度）	構内既存の施設 ※利用できる（・有償 ※無償） ①利用できない	⑥保証期間	防水の保証期間は原則、表面仕上材塗替なしで10年とする。ただし、既存の劣化等の状況により保証ができない場合は、保証できない理由を明確にし、監督職員と協議を行うこと。					⑥既存塗膜等の除去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法 〔4.5.4〕〔表4.5.4～7〕																			
⑤工事用水	構内既存の施設 ※利用できる（・有償 ※無償） ①利用できない	構内既存の施設 ※利用できる（・有償 ※無償） ①利用できない		シーリング材の種類、施工箇所 〔3.7.2〕〔表3.7.1〕 ※下表以外は、改修標仕表 3.7.1を標準とする						アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 〔4.3.5〕 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm 〔4.3.5〕																			
⑥工事用電力	構内既存の施設 ※利用できる（・有償 ※無償） ①利用できない	構内既存の施設 ※利用できる（・有償 ※無償） ①利用できない		⑦シーリング ・シーリング充填工法 ②シーリング再充填工法 〔3.1.4〕〔表3.1.2〕 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 〔3.7.2〕〔表3.7.1〕 ※下表以外は、改修標仕表 3.7.1を標準とする						※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする 〔4.3.5〕																			
3章 防水改修工事	①既存下地の補修及び処置	※図示による 〔3.2.6〕 既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 ・する ・しない	4章 外壁改修工事	①施工数量調査 調査範囲 ・既存モルタル面 ・躯体コンクリート面 ・図示の範囲 ②ALC面 〔1.6.2〕 調査内容 ひび割れ（0.2mm以上）の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、 漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。 調査報告書の部数 ※1部					⑦仕上塗材仕上げ	〔4.5.1〕〔4.5.2〕〔表4.5.1～2〕																			
	2アスファルト防水	〔3.3.2～3〕〔表3.1.1〕〔表3.3.3～10〕 <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施 工 箇 所</th><th>新規防水層の種別</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> アスファルトの種類 ※3種 ・ 押え金物 ※アルミニウム製（L-30x15x2.0程度） 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量（ ）箇所 改修用ドレン ※設ける（ 箇所）※鋼製 ・鉛製 ・設けない 〔3.2.5〕 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き） 厚さ（mm） ※35 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 厚さ（mm） ※35 乾式保護材 製造所の仕様による・ 防水保護のれんがの種類 ※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック 保護コンクリート仕上り平たんさ種別 ・a種 ・b種 ・c種 〔3.3.5〕〔8.1.4〕〔表8.1.5〕 仕上塗装（M4C、M3D、POD、POD1、M3D1、M4D1、工法） ※種類および使用量は製造所の仕様による 施工標識 ※設ける ・設けない		防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別					種類、仕上の形状、工法																		
	防水改修工法の種類	施 工 箇 所		新規防水層の種別																									
3改質アスファルトシート防水	〔表3.1.1〕〔3.4.2～3〕〔表3.4.1～3〕 <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施 工 箇 所</th><th>新規防水層の種別（厚さmm）</th><th>仕上げ塗料等</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量（ ）箇所 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 ※製造所の指定する製品 ・JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 施工標識 ※設ける ・設けない	防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別（厚さmm）	仕上げ塗料等					種 類 呼 び 名 仕 上 の 形 状 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材 E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・可とう形外装薄塗材 E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ ・防水形外装薄塗材 E ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・複層仕上塗材 ・複層塗材 C E ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 ・可とう形複層塗材 C E 上塗材 ・水系アクリル ・複層塗材 E ・水系アクリルシリコン ・複層塗材 R E 外観 ※つやあり ・つやなし ・防水形複層塗材 C E ・メタリック ・防水形複層塗材 E 防水形の増塗材 ・行う ①可とう形改修用仕上塗材 ※可とう形改修塗材 E ・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌状 ・可とう形改修塗材 R E 上塗材 ・アクリル ・ウレタン ※シリコン ・ふっ素 外観 ・吹付 ※ローラー 仕上 ※薄付け ・厚付け																			
防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別（厚さmm）	仕上げ塗料等																										
4合成高分子系ルーフィングシート防水	〔表3.1.1〕〔3.5.2～3〕〔表3.5.1～2〕 <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施 工 箇 所</th><th>新規防水層の種別（厚さmm）</th><th>仕上げ塗料等</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 〔3.5.2〕 可塑性移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 〔3.5.2〕 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量（ ）箇所 機械固定工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる ・ ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 接着工法に用いる断熱材 ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・ポリエチレンフォーム断熱材 改修用ドレン ※設ける（ 箇所） ・設けない ※製造所の指定する製品 ・鋼製 ・鉛製 施工標識 ※設ける ・設けない	防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別（厚さmm）	仕上げ塗料等					3ひび割れ部改修工法	〔4.1.4〕〔4.2.5〕 ・樹脂注入工法（・モルタル面 ・躯体コンクリート面） 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（cc/m） 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ ・ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 ・ ・ 注入材料 〔4.2.4〕 ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ・行わない ※行う（抜き取り部の補修方法： ） ・Uカットシール材充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・シール工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.7〕 シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.8〕 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面 ・コンクリート面 ・C B面） ・エポキシ樹脂モルタル（ ） ・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）					5章 建具改修工事	〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 ・樹脂注入工法（・モルタル面 ・躯体コンクリート面） 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（cc/m） 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ ・ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 ・ ・ 注入材料 〔4.2.4〕 ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ・行わない ※行う（抜き取り部の補修方法： ） ・Uカットシール材充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・シール工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.7〕 シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.8〕 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面 ・コンクリート面 ・C B面） ・エポキシ樹脂モルタル（ ） ・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）												
防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別（厚さmm）	仕上げ塗料等																										
⑧設計数量	〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 ・樹脂注入工法（・モルタル面 ・躯体コンクリート面） 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（cc/m） 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ ・ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 ・ ・ 注入材料 〔4.2.4〕 ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ・行わない ※行う（抜き取り部の補修方法： ） ・Uカットシール材充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・シール工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.7〕 シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.8〕 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面 ・コンクリート面 ・C B面） ・エポキシ樹脂モルタル（ ） ・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）					〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 ・樹脂注入工法（・モルタル面 ・躯体コンクリート面） 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（cc/m） 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ ・ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 ・ ・ 注入材料 〔4.2.4〕 ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ・行わない ※行う（抜き取り部の補修方法： ） ・Uカットシール材充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・シール工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.7〕 シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.8〕 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面 ・コンクリート面 ・C B面） ・エポキシ樹脂モルタル（ ） ・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）																							
1改修工法	〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 ・樹脂注入工法（・モルタル面 ・躯体コンクリート面） 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（cc/m） 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ ・ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 ・ ・ 注入材料 〔4.2.4〕 ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ・行わない ※行う（抜き取り部の補修方法： ） ・Uカットシール材充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・シール工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.7〕 シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.8〕 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面 ・コンクリート面 ・C B面） ・エポキシ樹脂モルタル（ ） ・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）					〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 ・樹脂注入工法（・モルタル面 ・躯体コンクリート面） 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（cc/m） 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ ・ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 ・ ・ 注入材料 〔4.2.4〕 ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ・行わない ※行う（抜き取り部の補修方法： ） ・Uカットシール材充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・シール工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.7〕 シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.8〕 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面 ・コンクリート面 ・C B面） ・エポキシ樹脂モルタル（ ） ・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）																							
2見本の製作等	〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 ・樹脂注入工法（・モルタル面 ・躯体コンクリート面） 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（cc/m） 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ ・ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 ・ ・ 注入材料 〔4.2.4〕 ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ・行わない ※行う（抜き取り部の補修方法： ） ・Uカットシール材充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・シール工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.7〕 シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.8〕 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面 ・コンクリート面 ・C B面） ・エポキシ樹脂モルタル（ ） ・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）					〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 ・樹脂注入工法（・モルタル面 ・躯体コンクリート面） 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（cc/m） 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ 樹脂注入工法 ・ ・ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 注入工法 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・ ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ 注入工法 ・ ・ 注入材料 〔4.2.4〕 ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ・行わない ※行う（抜き取り部の補修方法： ） ・Uカットシール材充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.6〕 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・シール工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.7〕 シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 〔4.1.4〕〔4.2.4〕〔4.2.8〕 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面 ・コンクリート面 ・C B面） ・エポキシ樹脂モルタル（ ） ・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）																							
工事名									近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事																				
日付									図面名																				
2026年7月									特記仕様書（改修2）																				
令和8年7月版									A-02 /																				

5章

建具改修工事

3アルミニウム製建具

外部に面する建具（フロントサッシは除く）

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所
・ A種	S－4	A－3	W－4	※ 70	※図示
・ B種	S－5			・ 100	
・ C種	S－6	A－4	W－5	・ 70 ・ 100 ・	

表面処理 ※BB-1種 ・ BB-2種 (※ﾌﾞﾛｽﾞ 系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝﾃﾞｰ)

内部建具

表面処理 ※AC-1又はBB-1種 ・ AC-2又はBB-2種 (※ﾌﾞﾛｽﾞ 系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝﾃﾞｰ)

防虫網

網の種類 ※ステンレス (SUS316) 製 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製

形 式 ※可動式 ・固定式

外部に面する建具（ﾌﾛﾝﾄｻｯｼは製造所の仕様による）

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所
・ A種	S－4	A－4	W－5	・ 70	※図示
・ B種	S－5			・ 100	
・ C種	S－6			・	

・防音ドアセット及び防音サッシの適用 種別 ・T-1種 ・T-2種

・断熱ドアセット及び断熱サッシの適用 種別 ・H-4種 ・H-5種

・H-6種 ・H-7種 ・H-8種

簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない

品質規格 ※改修標準表5.5.1による

・製造所標準仕様による

簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない

表面仕上げ ※HＬ仕上げ ・鏡面仕上げ

曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない

材料の含水率

種 別	加工及び組み立て時の含水率
※ A種	1 5％以下
・ B種	1 8％以下

6銅製建具

7銅製軽量建具

8ステンレス製建具

9木製建具

10建具用金物

マスターキー ・製作する ・製作しない（既存マスターキーに合わせる）

モノロック ゴール（ ） 美和ロック（ ）

シリンダー箱錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）

シリンダー本締り錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）

ドアクローザー 大島機工、日本ドアチェック製造、美和ロック、リヨービ

フロアヒンジ 大島機工、日本ドアチェック製造、美和ロック、リヨービ

ヒンジクローザー 大島機工、日本ドアチェック製造、美和ロック、リヨービ

押板、取手 ユニオン、DAIKEN

11自動ドア開閉装置

開閉方法 ※引き戸 ・多機能トイレ用引き戸

センサーの種類 ・光線センサー ・熱線センサー ・

12自閉式上吊り引戸装置

品質規格 ※改修標準5.10.3による

・製造所標準仕様による

13重量シャッター

種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター

・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター

開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式

スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板

形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

シャッターケース（防火・防煙以外のもの） ・設ける ・設けない

危害防止機構 ・障害物感知装置（自動閉鎖型）

・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの

14軽量シャッター

耐風圧性能（ ）N/m²（一般重量・外壁用防火のもの）

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）

スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・

形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

15その他のシャッター

耐風圧性能（ ）N/m²

・オーバーヘッドドア

・リンググリルシャッター

16ガラス

種類・厚さ ※ 建具表による

17ガラスの留め材

種別（区分は図示による）

※シーリング材（SR-1、シリコン系、9030G） ・ガasket

18ガラス用フィルム

品質は、JIS A5759による

※ガラス飛散防止フィルム 種類（ ・第2種 ・ ） 張り面（※内張 ・外張）

性能値 ※層間変位試験に適合するもの（B法）

2既存床の撤去並びに下地補修

3既存壁の撤去並びに下地補修

4木下地等

5集成材等

6接着剤

7床板張り

8軽量鉄骨天井下地

9軽量鉄骨壁下地

10ビニル床シート

11ビニル床タイル

12帯電防止ビニル床タイル

ビニル床シート等の撤去 ※仕上材のみ（接着剤とも）

・下地モルタルとも（※図示の範囲 ・除去範囲全て）

改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・図示

合成樹脂塗り床の除去 ・機械的除去工法 ・目荒工法

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修

※図示 ・モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補強 ・行う ・行わない）

表面仕上げ程度 ※プレーナ仕上げ ・サンダー仕上げ ・超自動機械かなな仕上げ

木材の含水率 ※A種 ・B種

木材の品質 ※改修標準6.5.2による ・市販品

樹種 構造材 ※杉 ・松 ・ひのき

造作材 ※杉 ・松 ・ひのき

防腐防蟻処理等 ※行わない ・行う（箇所－ ）

木材保存（木材の防腐・防蟻処理）剤は、監督職員の承諾するものとする。

※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。

集成材又は単板積層材の材質

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

品 名	規格・品質	芯材の種類	施 工 箇 所
・造作用集成材	※1等 ・2等	・たも ・なら ・しおじ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・単一針葉樹	
・化粧ばり構造用集成材			
・造作用単板積層材			
・直交集成材			

※木工事に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

フローリング及び縁甲板張り床

下張り用床板

※無し

・有り ※合板張り ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・

※単層フローリング（改修標準6.11.2による）

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

・縁甲板 ※ひのき

野縁等の種類 屋内（※19形 ・25形） 屋外（※25形 ・19形）

既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない

あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ・行わない

耐震補強 ・行う（図示）

屋外軒天井及びピロティ天井補強 ※図示

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

工 法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所 ）

種 類	JISの記号	色 柄	厚さ (mm)	備 考
※発泡層のないもの	※F S	・無地 ※マーブル柄	・2.5 ※2.0	
・発泡層のあるもの		※柄物 ・無地		
・				

接着材 ※改修標準表6.8.1による ・エポキシ樹脂系

種 類

JISの記号

厚さ (mm)

備 考

※単層ビニル床タイル

T T

※2.0

・複層ビニル床タイル

F T

・

・コンポジションビニル床タイル

K T

・

接着材 ※改修標準表6.8.1による ・エポキシ樹脂系

種 類

厚さ (mm)

性 能

※単層ビニル床タイル

※2.0

体積抵抗値 1.0x10⁹ Ω以下又は

・複層ビニル床タイル

・

漏えい抵抗値 1.0x10¹⁰ Ω以下

・コンポジションビニル床タイル

・

13誘導用及び注意喚起用床材

14ビニル幅木

15カーペット敷き

16合成樹脂塗床

17フローリング張り

18畳敷き

19せっこうボード
その他ボード張り

視覚障害者用床タイル

種 類	寸法 (mm)	施工箇所
・塩化ビニル製	※300×300	
・レジンコンクリート製	・	
・磁器又はせっ器質タイル		

高さ (mm) ※60 ・75 ・100

・織じゅうたん

種 別	バイル形状	色柄 等	備 考
・ A種	・カットバイル	※無地	
・ B種	・ループバイル	・柄物（標準品）	
・ C種	・カット、ループバイル併用	・	

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タフテッドカーペット

バイル形状	バイル長 (mm)	工 法	帯電性
・カットバイル	※5～7	※全面接着工法	人体帯電圧
・ループバイル	※4～6	・グリッパ－工法	※3 kV以下
・カット、ループバイル併用	・		

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タイルカーペット

バイル形状	種類	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	施工箇所
・ループバイル	※第一種 ・第二種	※500×500	※6.5	
・カットバイル				
・カット、ループ併用				

6章

内装改修工事

1改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側600mm程度と七、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による範囲

天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修範囲

※既存のまま ・図示による範囲

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士 登録 第 号

四日市市諏訪町 1 番 5 号

工事名

近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事

日付

図面名

縮尺

図面番号

2026年7月

特記仕様書（改修3）

—

A-03

令和8年7月版

/

6章
内装改修工事

20

せっこうボードの目地処理

目地処理の種類等
・継目処理工法
・突付け工法
・目透し工法

施工場所（
（
（
（

[6. 13. 3][表6. 13. 5]

21

壁紙張り

壁紙の種類等
・不燃
・準不燃
・難燃

防火性能
・不燃
・準不燃
・難燃

備考
・

[6. 14. 3]

22

セラミックタイル張り

タイルの種類
・屋内
・屋外
・屋内
・屋外
・屋内
・屋外
・屋内
・屋外

形状寸法 (mm)

用途による区分
・床
・壁
・床
・壁
・床
・壁
・床
・壁

耐凍害性
※
※
※
※

色 調
標準
※
※
※
※

うわぐすり
無釉
施釉
無
有

役 物
無
有

[6. 16. 3]

23

セルフレベリング

セルフレベリング材の種類
・せっこう系
・セメント系

※厚み (mm程度)

[6. 17. 2][表6. 17. 1]

24

断熱材

断熱材の種類
・押出法
・ポリスチレンフォーム
・保温板
・現場発泡断熱材

※2種b
※3種b

施工箇所
※一般部
※接合部分
※断熱材補修部分
※一般部

厚さ (mm)
※25
※25
※15

品質等
※ノンフロンなもの
・特定フロンを使用しないもの
ノンフロンタイプ
・HFCタイプ
難燃性・3級
・2級
・難燃材料相当品

[6. 16. 3][表6. 16. 4]
[6. 16. 4][表6. 16. 6]

25

フリーアクセスフロア

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外
・第三種

[6. 16. 3][表6. 16. 4]
[6. 16. 4][表6. 16. 6]

26

可動間仕切

可動間仕切の種類
・パネル式
・スタッド式
・スタッドパネル式

パネル部の総厚さ (mm)

表面材種 厚さ (mm)
※鋼板 (※0.6・0.8)
・

表面仕上げ
※メラミン樹脂又は
アクリル樹脂焼付け
・

[6. 16. 3][表6. 16. 4]
[6. 16. 4][表6. 16. 6]

27

移動間仕切り

操作方法
・手動式
・電動式
・部分電動式

パネル表面材 (・)
遮音性 (・)

パネル及び圧着装置の操作方法 (・)

[6. 16. 3][表6. 16. 4]
[6. 16. 4][表6. 16. 6]

28

トイレブース

パネル表面材
※高圧メラミン樹脂系化粧板 (アルミ製コーナーエッジ付き)
・ポリエステル樹脂系化粧板 (アルミ製コーナーエッジ付き)

脚 部 (ステンレス製)
※幅木タイプ
・脚金物タイプ

[6. 16. 3][表6. 16. 4]
[6. 16. 4][表6. 16. 6]

29

階段滑り止め

材種
※ステンレス製ビニルタイヤ入り
・

寸法
※幅 35mm
・

取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

[6. 16. 3][表6. 16. 4]
[6. 16. 4][表6. 16. 6]

30

黒板及びホワイトボード

種 類
・黒板
・ホワイトボード

寸 法 (mm)
※ホーロー
※焼付け
※ホーロー

色 彩
※緑・黒
※緑・黒
※白

備 考
※平面・曲面
・

[6. 16. 3][表6. 16. 4]
[6. 16. 4][表6. 16. 6]

31

ブラインド

・既存再使用する (養生方法)
・新設する

形 式
※横型

種 類
※ギヤ式
・コード式
・操作棒式

スラットの材種・幅 (mm)
※アルミニウム合金 ※25
・

施工箇所
・

[2. 3. 1][5. 1. 6]
(標仕20. 2. 14)

32

ロールスクリーン

材種・品質 (・)
操作方法 (・)

[2. 3. 1][5. 1. 6]
(標仕20. 2. 15)

33

カーテン

・既存再使用する (養生方法)
・新設する

施 工 箇 所

名 称・品 質

ひだの種類
・箱ひだ等
・片ひだ

形 式
・片引
・引分

[2. 3. 1][5. 1. 6]
(標仕20. 2. 16)

34

点検口

天井点検口
※アルミニウム製 (※額縁タイプ
・目地タイプ)
床点検口
※アルミニウム製
・ステンレス製
受け枠 (・)

種 類
流し台
コンロ台

寸 法
※1200・1500
・
※600・700
・

適用内容
トラップ付
バックガード付

規格・品質等
※優良住宅部品

[2. 3. 1][5. 1. 6]
(標仕20. 2. 16)

35

流し台ユニット

種 類
流し台
コンロ台

寸 法
※1200・1500
・
※600・700
・

適用内容
トラップ付
バックガード付

規格・品質等
※優良住宅部品

[2. 3. 1][5. 1. 6]
(標仕20. 2. 16)

7章
塗装改修工事

①

材料一般

・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量

[7. 1. 3]

②

下地調整

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲
下地調整

[7. 2. 1]
[表7. 2. 1～7]

3

素地ごしらえ

素地ごしらえ

[7. 3. 1～7] [表7. 3. 1～7]

④

錆止め塗料塗り

塗料種別
鉄鋼面
仕上げEP-Gの場合
亜鉛めっき鋼面
仕上げEP-Gの場合

[7. 4. 2]
[表7. 4. 1]
[表7. 4. 2]

8章
耐震改修工事

1

鉄筋の種類

種 類の記号
・SD295
・SD345

径
※D16以下
※D19以上

[8. 2. 1][表8. 2. 1]

2

溶接金網

網目の形状 (※150x150・100x100・50x50)
鉄線の径 (mm) (※6.0・3.2)

[8. 2. 2]

3

鉄筋の材料試験

※JIS規格品については径の異なるごとに1 t未満の場合は規格証明書
の提出を省略することができる。

[8. 2. 3]

工事名
近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事

日付
2026年7月

図面名
特記仕様書 (改修4)

縮尺
—

図面番号
A-04 /

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士 登録 第 号
四日市市諏訪町1番5号

令和8年7月版

8章
耐震改修工事

4 継手及び定着

鉄筋の継手方法
・径D19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手
・重ね継手
継手位置 ※標仕各部配筋参考図による ・図示
定着長さ ※改標仕[表8.3.4]による ・図示

[8.3.4][表8.3.3]

5 帯筋組立の形

※各部配筋参考図図1.1による ・図示

[8.3.4]

6 壁の配筋及び補強

※標仕各部配筋参考図4節による ・図示

[8.3.7]

7 ガス圧接

圧接部の確認試験
※超音波探傷試験 ・引張試験

[8.3.8]

8 コンクリートの種類及び強度

コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・軽量コンクリート

普通コンクリートの類別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類
仕上りの平たんさ種別 ・a種 ・b種 ・c種
普通コンクリートの設計基準強度
設計基準強度F_o 施 工 箇 所
※ 21 (N/mm²)
・

軽量コンクリートの設計基準強度
設計基準強度F_o 気乾単位容積質量 種 別 施 工 箇 所
(N/mm²) (t/m³)
※ 21 (N/mm) ※1.9程度 ※Ⅰ種
・

[8.1.3][表8.1.1]
[8.1.4][表8.1.5]
[8.1.4]
[8.1.3~4][8.9.1~2][表8.9.1]

9 コンクリートの材料

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
・高炉セメントB種 適用箇所()
・フライアッシュセメントB種 適用箇所()
・アルカリシリカ反応による区分 ※A
・フェロニッケルスラグ細骨材は使用しない

[8.2.5][表8.2.3]

10 モルタル及びグラウト材

グラウト材 ※無収縮グラウト材 (圧縮強度 45N/mm²以上)
太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー540グラウト(BASFボソリス)
ノンシュリンクライトグラウト(ABC商会) デンカ プレタスコ TYPE-1(電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

柱底等の均しモルタル ※無収縮モルタル ・モルタル
太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー870グラウト(BASFボソリス)
ノンシュリンクライトグラウト(ABC商会) デンカ プレタスコ TYPE-1(電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

[8.2.6][8.2.12]

11 無筋コンクリート

種 類 設計基準強度F_o スランブ 粗骨材の最大寸法 適用箇所
(N/mm²) (cm)
※普通コンクリート ※18 ※15又は18 ※25

構造体強度補正值(S)
(普通ポルトランドセメント)
打 設 期 間 補正值(N/mm²) 備 考
2/25~7/7 9/7~11/22 3.0
11/23~2/24 6.0
7/8~9/6 6.0 暑中コンクリート

[8.11.1~3]

12 調査管理強度

※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。
20m³以下の場合の試験については、監督職員の指示による。
20~50m³の場合は任意の一車より試料を採取し、各3個供試体を作成する。
50m³以上は 改修標仕8.8.3による。

[8.8.2~3]

14 型枠

打ち放し仕上げの種類
種 別 施 工 箇 所
・ A 種
※ B 種
・ C 種
外部に面するコンクリート打ち放し仕上げの打増し ・20 ※図示

[8.7.8]
[8.7.8]

15 鉄骨製作工場

・監督職員が承諾する工場
・(社)全国鉄構工業協会、(株)日本鉄骨評価センター認定工場(下記認定グレード以上)
(S・H・M・R・J)
施工管理技術者 ・配置する ・配置しない
※高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は、
国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による。
・配置する ・配置しない

[8.1.5]
[8.1.6]
[8.13.2]
[8.15.2]

16 鉄骨工作図

鋼材の材質、規格は下表による。
材 質 品名又は使用箇所 規 格
※JISの規格品
※JISの規格品
※JISの規格品
※トルシア形高力ボルト・JIS形高力ボルト・溶融亜鉛めっき高力ボルト
径()
すべり係数試験 ・実施する ・実施しない
試験方法()、試験片の摩擦面の状態()
※JIS規格品については種類の異なるごとに1t未満の場合は規格証明書
の提出を省略することができる。
エンドタブの種類 ※鋼製タブ
代替タブを使用する場合は、セラミックスタブとし、以下の書類を提出し、監督職員の承諾
を得ること。
・セラミックスタブの使用実績
・AW検定協議会の代替エンドタブ技量認定資格者または日本エンドタブ協会によるエンド
タブ施工講習(溶接技能者・固形タブ・A級)修了者の資格証
・鉄骨製作工場における施工実績
エンドタブの切断 ・行う() ・行わない
スカラップ ※改良型スカラップ
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う(9mm以上) ・行わない
試験箇所数 耐震ブレース ※改修標仕8.15/12による ・
その他 ※標仕7.6.12(4)による ・
・鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種類は、下記とする。
・JIS K 5674
・DP塗装の場合 JIS K 5552 + JIS K 5551(2回)
耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う ※行わない
種 別 所要性能及び適用構造部位
・耐火材
吹付け ・乾式吹付けロックウール
・半乾式吹付けロックウール
・湿式ロックウール
・耐火板張り
・ラス張りモルタル塗り
・耐火塗料
適用範囲 [8.21.3][8.22.3]
※既存コンクリートとの打継ぎ面
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材充填部の接合面
・
目荒らしの範囲
※柱、梁面 打継ぎ面又は接合面全体の3/4以上
※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度
・
目荒らしの程度
※平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹部を施す
・金属拡張アンカー
※接着系アンカー
接着剤の材質及びカプセルの種類 (ガラス管タイプ)
日本デコラックス(株) ケミカルアンカー-R、RSタイプ
旭化成ジオテック(株) ARケミカルセッター-SUPER LLL AP
日本ヒルティ(株) H V U-G/E A もしくは同等品以上
接合筋の種類 ※鉄筋コンクリート用棒鋼(D16以上SD345)
・全ねじボルト
施工管理技術者 ※置く ・置かない
穿孔前の埋込み配管等の探索
範囲 ・あと施工アンカー施工部分全て ・図示
方法 ・探索機により探索し、配管等の位置の墨出しを行う。
・はつり出しによる
穿孔方法 ・低騒音、低振動工法とする(工法については、監督員が承諾を得ること)

[8.2.4]
[8.12.2]
[8.12.4]

27 あと施工アンカーの施工

施工確認試験
※全数打音試験を行う。
・引張試験は増設壁又は鉄骨ブレス1箇所あたり1本とし、引張荷重は設計強度の2/3以上とする。場所については監督職員の指示による。

[8.12.5][8.12.7]

28 あと施工アンカーの穿孔

施工確認試験
※全数打音試験を行う。
・引張試験は増設壁又は鉄骨ブレス1箇所あたり1本とし、引張荷重は設計強度の2/3以上とする。場所については監督職員の指示による。

[8.12.5][8.12.7]

29 あと施工アンカーの確認試験

施工確認試験
※全数打音試験を行う。
・引張試験は増設壁又は鉄骨ブレス1箇所あたり1本とし、引張荷重は設計強度の2/3以上とする。場所については監督職員の指示による。

[8.12.5][8.12.7]

9章
環境配慮改修工事

30 既存構造体との取り合い

グラウト材の品質管理
※圧縮強度試験を行う(3日、28日、封かん養生)
※コンシステンシー試験を行う。

[8-21.9][8.22.7]

① 一般事項

労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針(建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針)を遵守すること。
○アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。

石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
○石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
○事前調査結果及び特定粉塵排出等作業の掲示を行うこと。
○アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。
○アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。

[9.1.1]

② アスベスト含有建材の処理工事

アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 ・行う ○行わない
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理 ・行う ○行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ ・行う ○行わない
施工箇所及び工法 ※図示

[9.1.1]

③ アスベストの含有調査

分析による確認 ・行う(下表による) ○行わない
材 料 名 調査方法 1材料あたりの試料数
※定性分析(3・) ※定量分析(※3・)
※定性分析(3・) ※定量分析(※3・)
※定性分析(3・) ※定量分析(※3・)

④ アスベスト含有吹付け材の除去

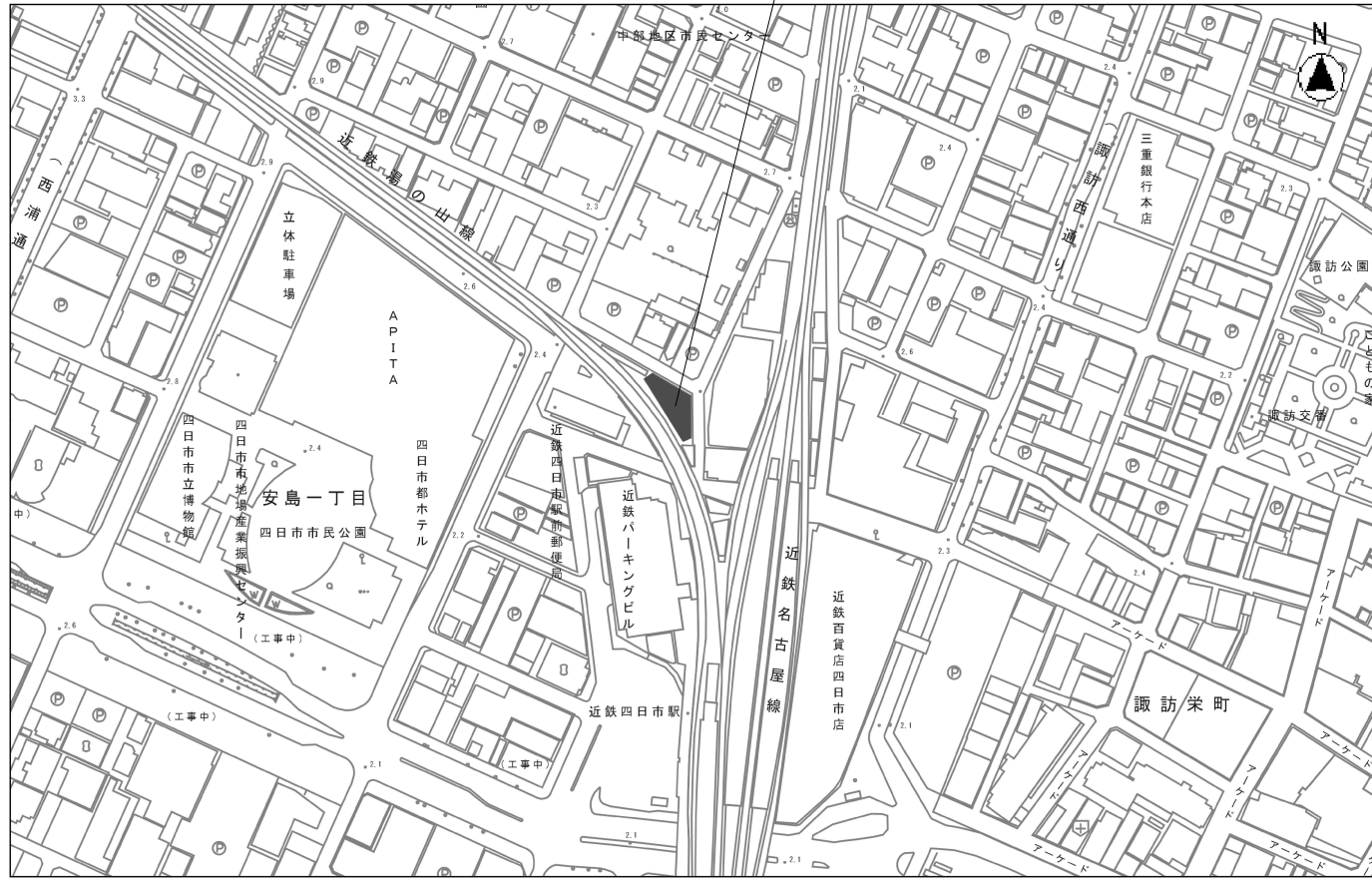
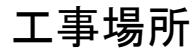
アスベスト含有吹付け材の有無 ・有 ○無
除去吹付け材()含有場所()
吹付けアスベストの施工数量調査 ※行う
アスベスト粉じん濃度測定 ※行う
表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定
測定時期 測定名称 測定場所 測定点(各施工箇所ごと) 備考
処理作業前 測定1 処理作業室内 各2点又は3点 (注)1
測定2 施行区画周辺又は、敷地境界 計2点 大気
処理作業中 測定3 処理作業室内 各2点又は3点 (注)1
測定4 セキュリティーゾーン入口 1点 空気の流れを確認
測定5 集じん・排気装置の排出口 1点 (注)2
(処理作業室外の場合)
測定6 施行区画周辺又は、敷地境界 4方向各1点 -
処理作業後(隔離シート撤去前) 測定7 処理作業室内 各2点又は3点 (注)1
測定8 施行区画周辺又は、敷地境界 4方向各1点 大気
(注)1. 各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは2点、300㎡以下までは3点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
(注)2. 集じん・排気装置の性能確認
表9.1.2 アスベスト粉じん濃度測定方法
測定器 測定3 測定1,2,4,6,7,8 測定5
計数機器 位相差顕微鏡
メンブレンフィルタの直径 25mm 47mm
試料の吸引流量 1l/min 5l/min 10l/min
試料の吸引時間 5min 120min 210min
試料の透明化 アセトノートリアセチン法又は、シウ酸ジエチル法
計数条件 総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野
計数アスベスト 直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上
定量限界 50 f/l 0.5 f/l 0.3 f/l
作業場の負圧隔離養生 ※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。

処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化处理施設において無害化处理を行う。

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士登録第号
四日市市諏訪町1番5号

近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事
日付 図面名 縮尺 図面番号
2026年7月 特記仕様書(改修5) — A-05 /
令和8年7月版



付近見取図 1/2, 500

構造・規格	
主体構造	鉄骨造
規 模	地下1階 / 地上2階建
面 積	建築面積：479.53㎡
高 さ	8.35m（最高高さ）
主要用途	自転車駐輪場

[illegible]

配置図

・ : 対象建築物

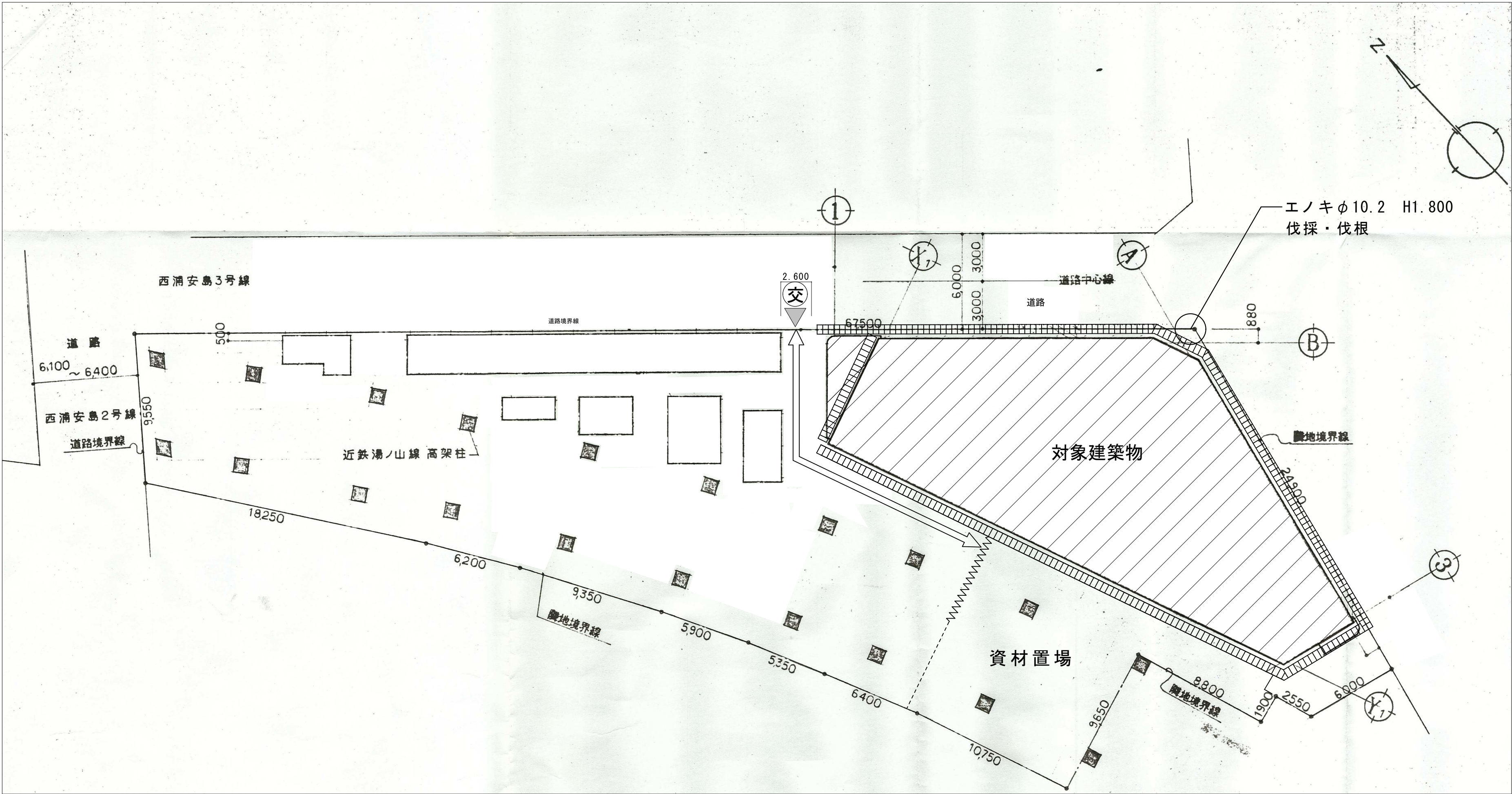
凡例	改修前	改修後
A	外壁：ALC t100横張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
B	外壁：ALC t100縦張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
C	ALCコーナーパネルの上複層模様吹付(300×300 t100)	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
D	根廻り：コンクリート打放し仕上の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
E	外壁コーナー：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま
F	カーテンウォール上部：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま
G	出入口庇：アルミプレートt2.0加工パネル(一部R加工)	既設のまま
H	化粧柱：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま
I	笠木：アルミ製笠木 W=140(一部 W=200)	既設のまま
J	屋根：折板t0.8(溶融アルミニウムメッキ銅板)山高90 ポルトレス工法	水洗い+ケレン(RB種)目荒らしサンダー掛けの上、 重ね部分ジョイント処理+高強度ウレタン塗膜防水密着工法
K	管理室前室：ALC t50横張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
L	化粧柱根廻り：コンクリートR型打放し仕上の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
M	縦樋：カラーVPφ100【撤去】(包み金物@1.200共)	縦樋：カラーVPφ100【新設】(包み金物@1.200共)
N	縦樋：ステンレスパイプφ80	既設のまま
O	縦樋養生管：亜鉛メッキ銅管φ139.8×4.5 L=2000	下地調整(RB種)+DP塗装
P	軒樋：塩ビ角樋 W=200 吊金物@600【撤去】	軒樋：塩ビ角樋 カラーW=200 吊金物@600【新設】
Q	巾木：モルタル金ゴテ押え	水洗い
R	軒天：フレキシブルボードt6 AEP	水洗い+NAD塗装
S	屋根：着色耐酸アクリル被覆銅板	水洗い+ケレン(RB種)目荒らしサンダー掛けの上、 高強度ウレタン塗膜防水密着工法

■照明器具・階段：設置のまま塗装可能な範囲まで塗り込む

■外壁面に付属する配管及びBOXについて
20φ以下程度の細物は外壁同仕様とする。

外部仕上表

近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事 工 事 設 計 図								
図 面 名	付近見取図	縮 尺 NO SCALE	設計番号	課 長	課長補佐	係 長	担 当 者	図 面 番 号 A-7
	配置図 外部仕上表		作図 2026年 7月					
四日市市都市整備部営繕工務課				一級建築士 登録 第 号 四日市市諏訪町1番5号				



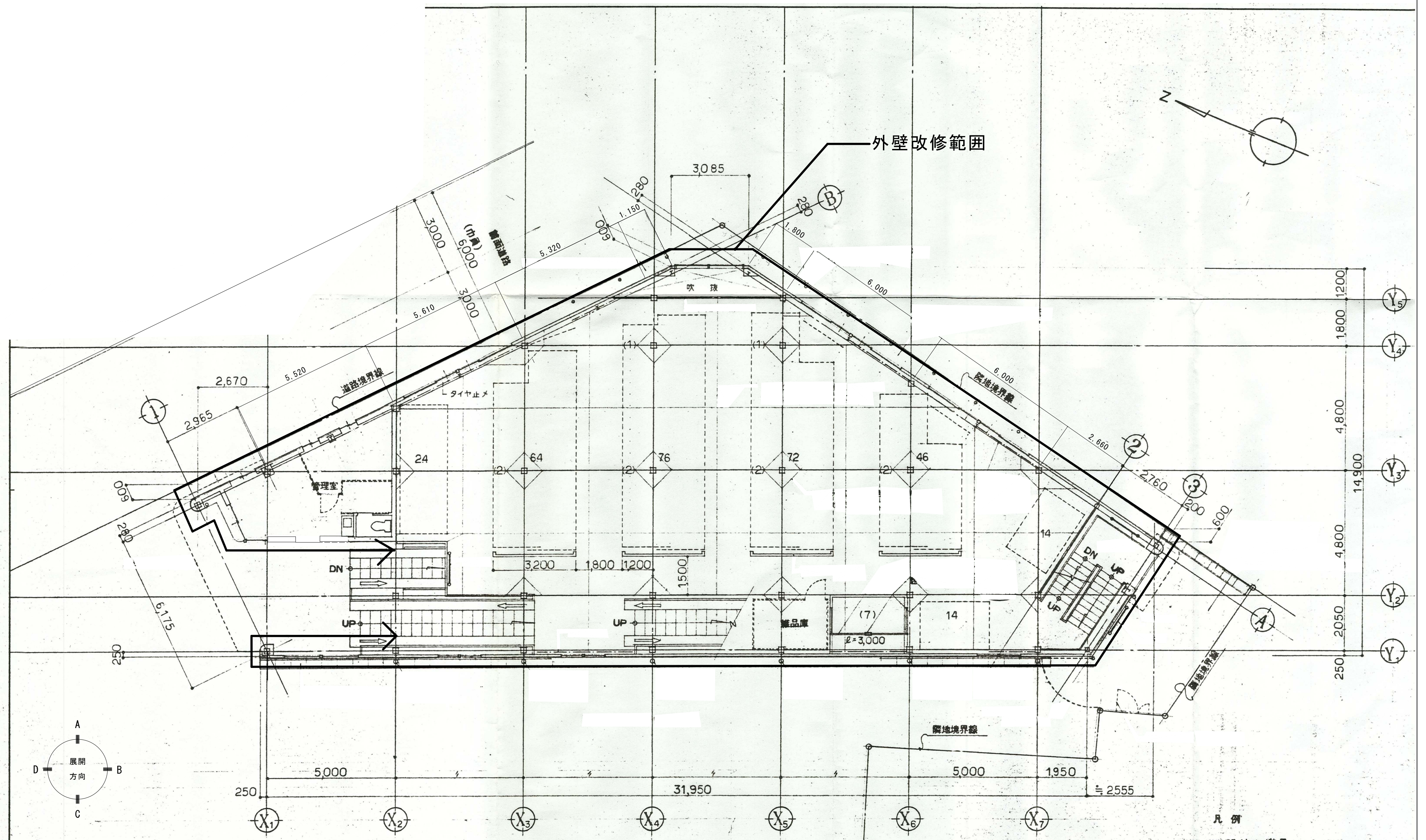
凡例	
	改修建物を示す
	仮囲い(ガードフェンスH=1,800)約65m
	ジャバラゲートW=6,000(H=1,800)1カ所
	外部足場(くさび緊結式、手すり先行工法) 参考
	工事車両・搬入経路
	工事車両出入口

〈特記事項〉	
※現場作業については、施設利用者、施設関係者等の安全に留意すること。	
※大型車両搬入時は（仮設材搬入時、資材搬入時、撤去搬出時等）	
誘導員を配置し、施設利用者、施設関係者、一般歩行者等の安全確保に努めること。	
※車両出入り時間については、施設関係者及び監督職員と協議を行うこと。	
※資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。	
※足場周囲は、第三者が足場を利用しないようガードフェンスにて安全対策を行うこと。	
※原則、外部への各出入口については、通行可能な状態とし、足場開口を設け落下防止養生を行うこと。	
※足場資材置き場について、施設関係者及び監督職員と協議を行うこと。	
※電線について、必要に応じて保護対策を講じること。	
※出入口について、塗装改修を行う際第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。	

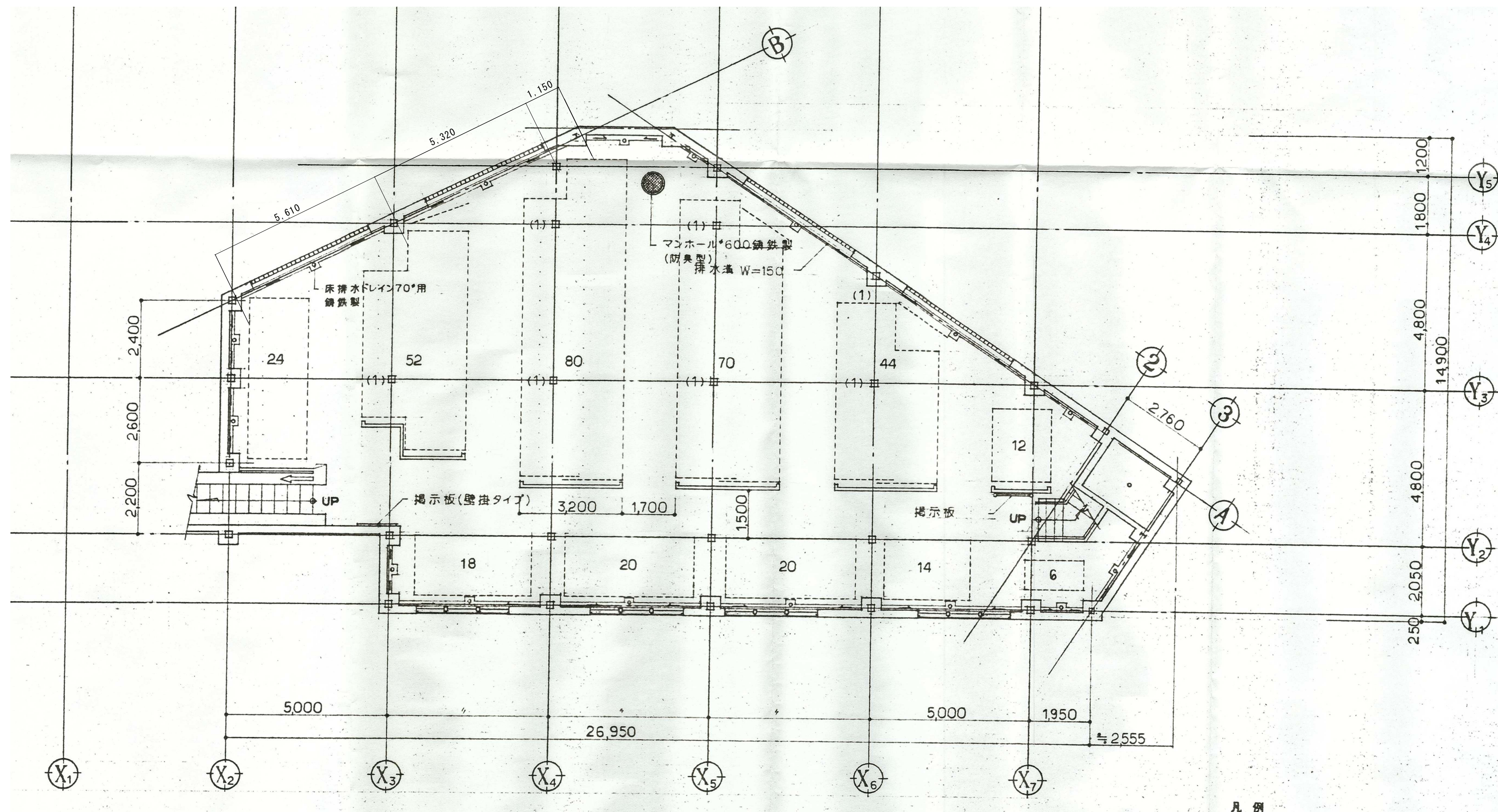
※工事に際して公道を使用及び加工する際は、受注者において
道路法、道路交通法などの必要な手続きをおこなうこと。
また、それに伴う費用等が発生した場合は受注者にて負担することとする。
ただし、道路占用許可申請における占用料は除くこととする。

・(交)：交通誘導員

近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事 工事設計図						
図 面 名	仮設計画図	縮 尺	設計番号	課 長	課長補佐	係 長
		NO SCALE	作図 年 月 日			
四日市市都市整備部営繕工務課				一級建築士 登録 第	号	
				四日市市諏訪町1番5号		
						図面番号 A-8



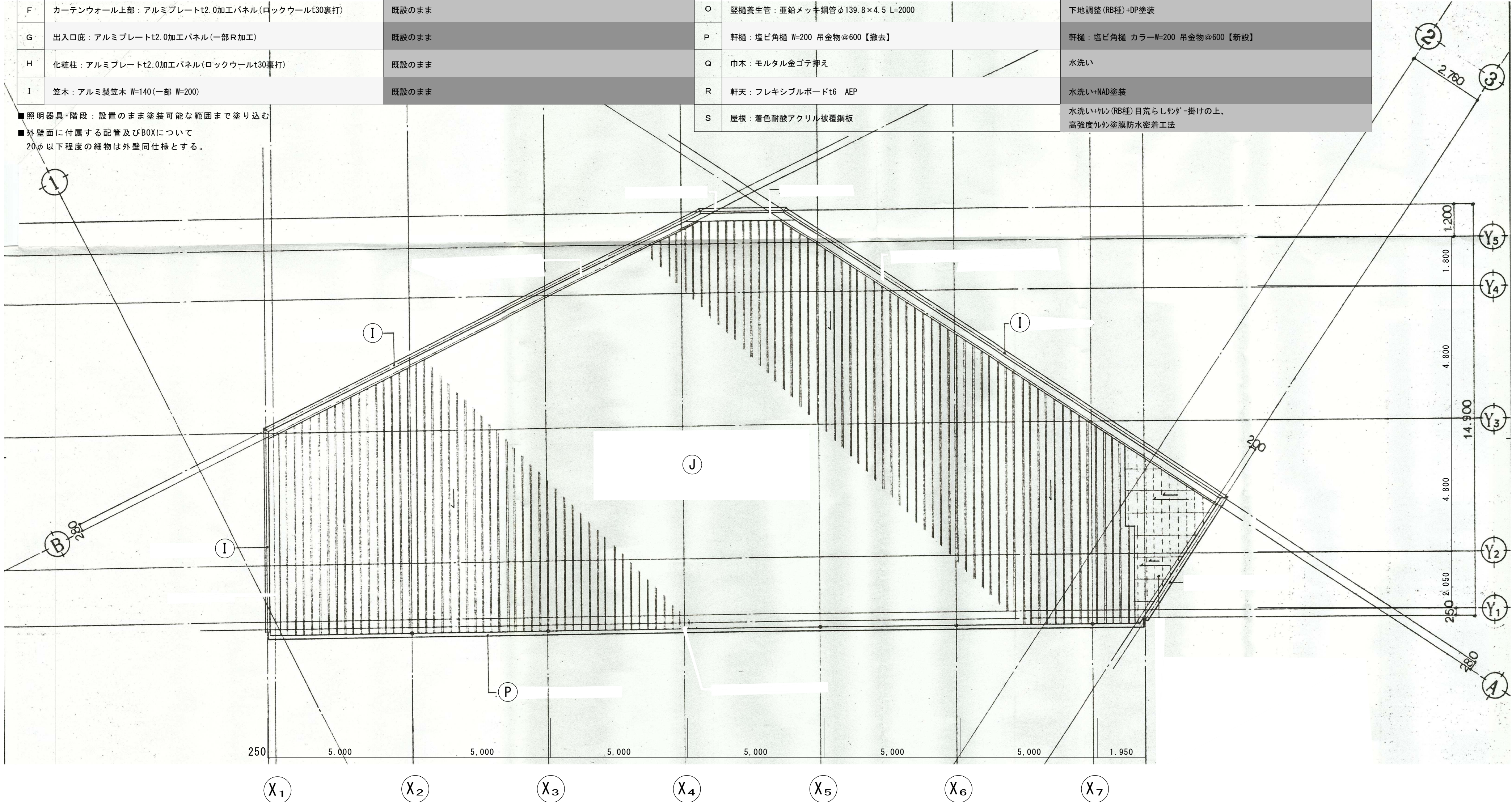
近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事 工事設計図									
図 面 名	1階平面図	縮 1 : 100	設計番号	課 長	課長補佐	係 長	担 当 者	図 面 番 号	
		1 :							
		尺 1 :	作 図 2026年 7月					A-9	
四日市市都市整備部営繕工務課								一級建築士 登録 第 号 四日市市諏訪町1番5号	



近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事 工事設計図

凡例	改修前	改修後	凡例	改修前	改修後
A	外壁：ALC t100横張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	J	屋根：折板t0.8(溶融アルミニウムメッキ銅板)山高90 ポルトレス工法	水洗い+ケレン(RB種)目荒らしサゲ-掛けの上、 重ね部分ジョイント処理+高強度ケレン塗膜防水密着工法
B	外壁：ALC t100縦張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	K	管理室前室：ALC t50横張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
C	ALCコーナーパネルの上複層模様吹付(300×300 t100)	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	L	化粧柱根廻り：コンクリートR型打放し仕上の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
D	根廻り：コンクリート打放し仕上の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	M	縦樋：カラーVPφ100【撤去】（包み金物@1,200共）	縦樋：カラーVPφ100【新設】（包み金物@1,200共）
E	外壁コーナー：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま	N	縦樋：ステンレスパイプφ80	既設のまま
F	カーテンウォール上部：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま	O	縦樋養生管：垂鉛メッキ鋼管φ139.8×4.5 L=2000	下地調整(RB種)+DP塗装
G	出入口庇：アルミプレートt2.0加工パネル(一部R加工)	既設のまま	P	軒樋：塩ビ角樋 W=200 吊金物@600【撤去】	軒樋：塩ビ角樋 カラーW=200 吊金物@600【新設】
H	化粧柱：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま	Q	巾木：モルタル金ゴテ押え	水洗い
I	笠木：アルミ製笠木 W=140(一部 W=200)	既設のまま	R	軒天：フレキシブルボードt6 AEP	水洗い+NAD塗装
			S	屋根根：着色耐酸アクリル被覆鋼板	水洗い+ケレン(RB種)目荒らしサゲ-掛けの上、 高強度ケレン塗膜防水密着工法

- 照明器具・階段：設置のまま塗装可能な範囲まで塗り込む
- 外壁面に付属する配管及びBOXについて
20φ以下程度の細物は外壁同仕様とする。

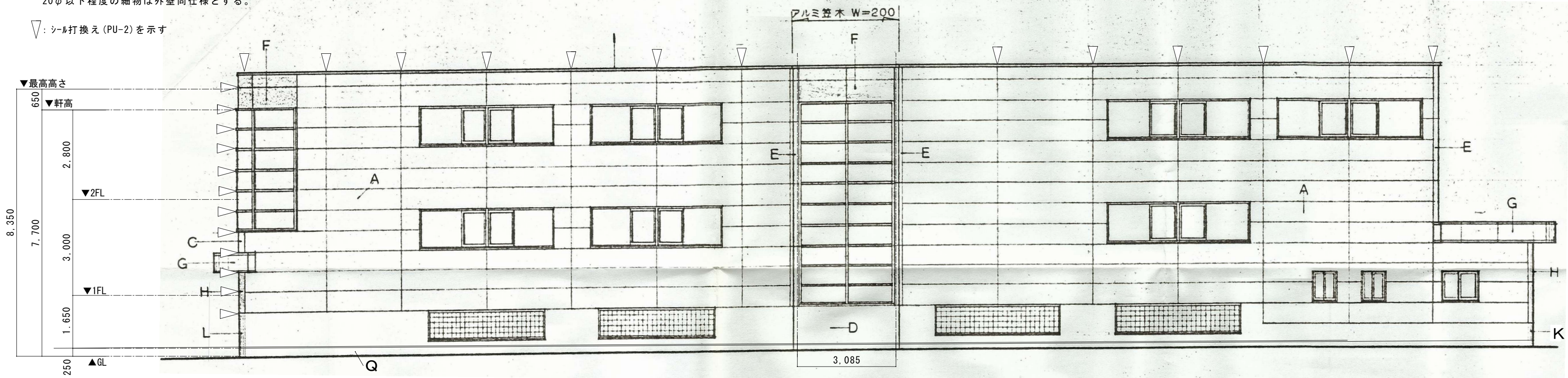


近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事 工 事 設 計 図								
図 面 名	屋根伏図	縮 1 : 100 1 : 尺 1 :	設計番号	課 長	課長補佐	係 長	担 当 者	図 面 番 号
			作図 2026年 7月					A - 1 2
		四日市市都市整備部営繕工務課			一級建築士 登録 第 号 四日市市諏訪町1番5号			

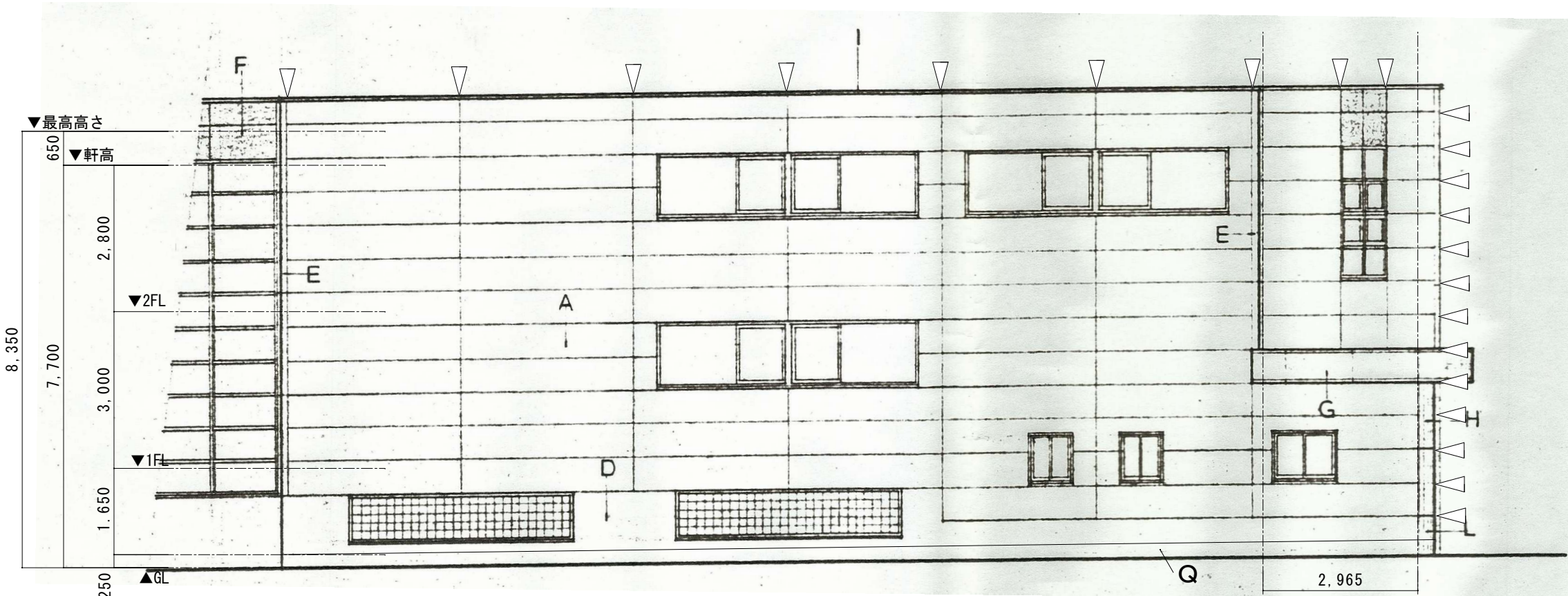
凡例	改修前	改修後	凡例	改修前	改修後
A	外壁：ALC t100横張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	J	屋根：折板t0.8(溶融アルミニウムメッキ鋼板)山高90 ポルトレス工法	水洗い+カシ(RB種)目荒らしササゲ掛けの上、重ね部分ジョイント処理+高強度カシ塗膜防水密着工法
B	外壁：ALC t100縦張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	K	管理室前室：ALC t50横張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
C	ALCコーナーパネルの上複層模様吹付(300×300 t100)	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	L	化粧柱根廻り：コンクリートR型打放し仕上の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
D	根廻り：コンクリート打放し仕上の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	M	縦樋：カラーVPφ100【撤去】(包み金物@1.200共)	縦樋：カラーVPφ100【新設】(包み金物@1.200共)
E	外壁コーナー：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま	N	縦樋：ステンレスパイプφ80	既設のまま
F	カーテンウォール上部：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま	O	縦樋養生管：垂鉛メッキ鋼管φ139.8×4.5 L=2000	下地調整(RB種)+DP塗装
G	出入口庇：アルミプレートt2.0加工パネル(一部R加工)	既設のまま	P	軒樋：塩ビ角樋 W=200 吊金物@600【撤去】	軒樋：塩ビ角樋 カラーW=200 吊金物@600【新設】
H	化粧柱：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま	Q	巾木：モルタル金ゴテ押え	水洗い
I	笠木：アルミ製笠木 W=140(一部 W=200)	既設のまま	R	軒天：フレキシブルボードt6 AEP	水洗い+NAD塗装
			S	屋根：着色耐酸アクリル被覆鋼板	水洗い+カシ(RB種)目荒らしササゲ掛けの上、高強度カシ塗膜防水密着工法

- 照明器具・階段：設置のまま塗装可能な範囲まで塗り込む
- 外壁面に付属する配管及びBOXについて
20φ以下程度の細物は外壁同仕様とする。

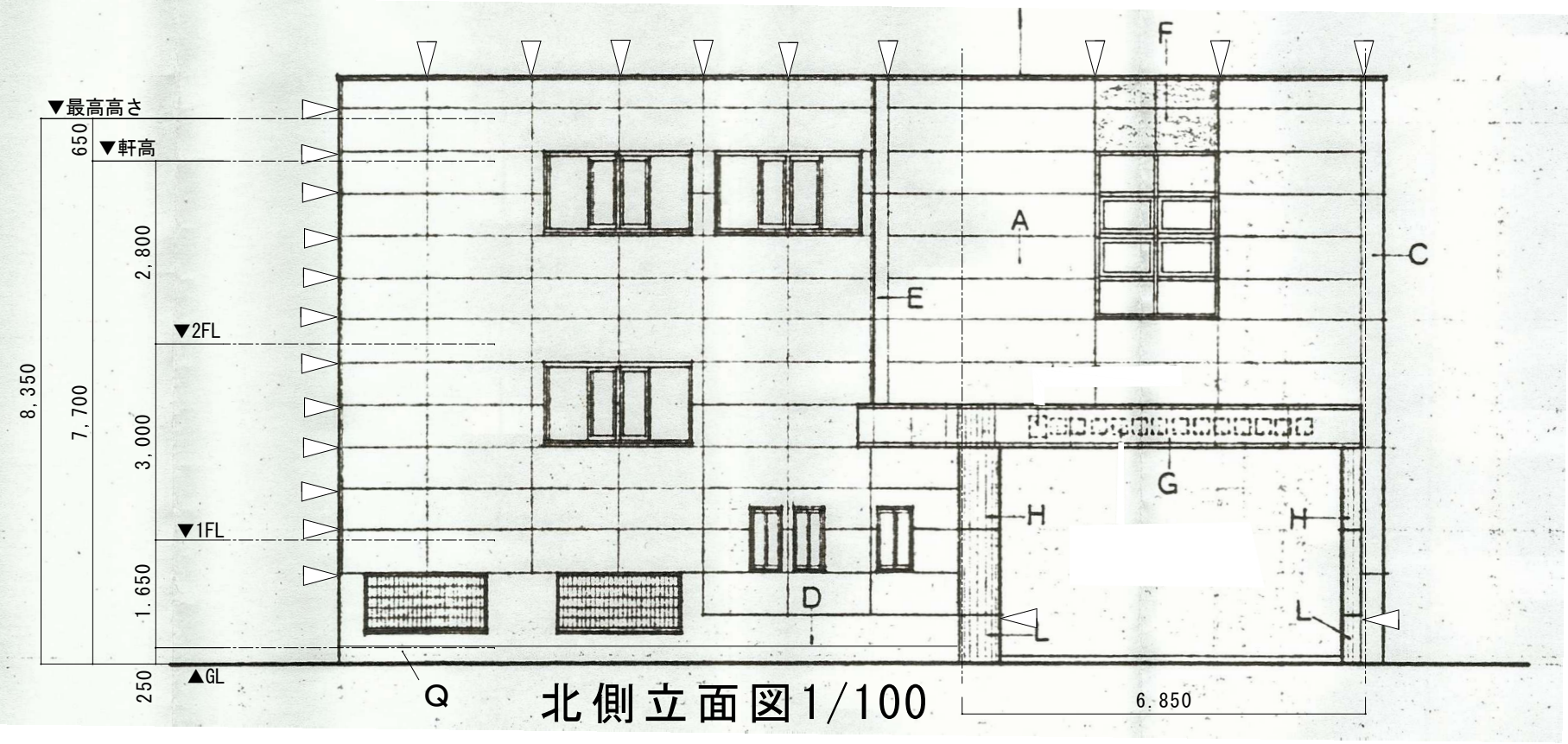
▽：シール打換え(PU-2)を示す



東側立面図1/100



北東側立面図1/100



北側立面図1/100

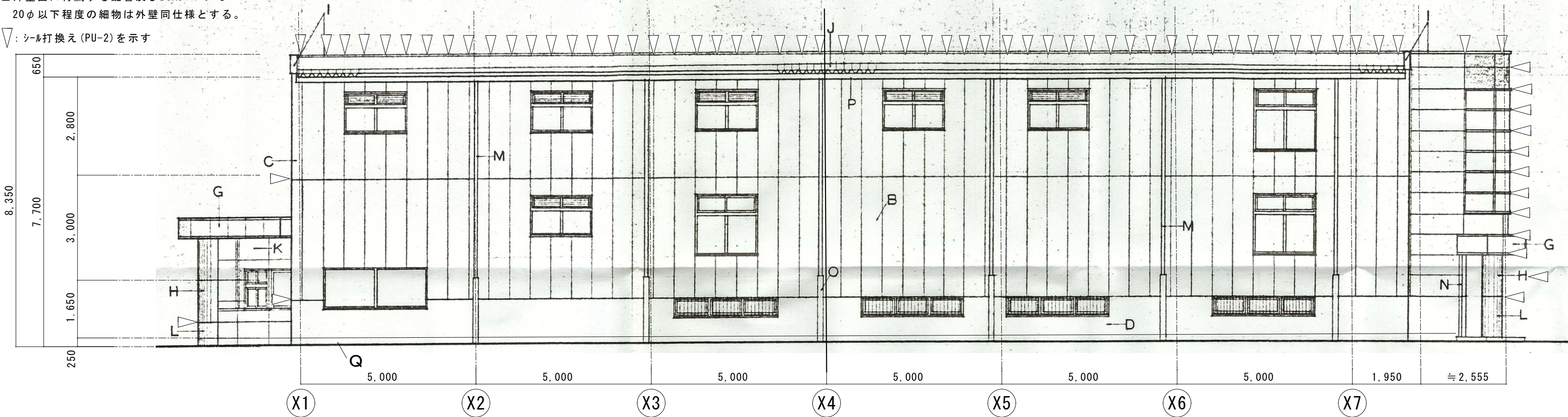
近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事 工事設計図									
図 面 名	縮 1 : 100 尺 1 :	設計番号 作図 2026年 7月	課 長 課長補佐 係 長 担 当 者				図 面 番 号		
							A-13		
			四日市市都市整備部営繕工務課				一級建築士 登録 第 号 四日市市諏訪町1番5号		

凡例	改修前	改修後	凡例	改修前	改修後
A	外壁：ALC t100横張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	J	屋根：折板t0.8(溶融アルミニウムメッキ鋼板)山高90 ポルトレス工法	水洗い+カシ(RB種)目荒らしササゲ掛けの上、重ね部分ジョイント処理+高強度カシ塗膜防水密着工法
B	外壁：ALC t100縦張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	K	管理室前室：ALC t50横張の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
C	ALCコーナーパネルの上複層模様吹付(300×300 t100)	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	L	化粧柱根廻り：コンクリートR型打放し仕上の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E
D	根廻り：コンクリート打放し仕上の上複層模様吹付	水洗い+可とう形改修用仕上塗材E	M	縦樋：カラーVPφ100【撤去】(包み金物@1.200共)	縦樋：カラーVPφ100【新設】(包み金物@1.200共)
E	外壁コーナー：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま	N	縦樋：ステンレスパイプφ80	既設のまま
F	カーテンウォール上部：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま	O	縦樋養生管：垂鉛メッキ鋼管φ139.8×4.5 L=2000	下地調整(RB種)+DP塗装
G	出入口庇：アルミプレートt2.0加工パネル(一部R加工)	既設のまま	P	軒樋：塩ビ角樋 W=200 吊金物@600【撤去】	軒樋：塩ビ角樋 カラーW=200 吊金物@600【新設】
H	化粧柱：アルミプレートt2.0加工パネル(ロックウールt30裏打)	既設のまま	Q	巾木：モルタル金ゴテ押え	水洗い
I	笠木：アルミ製笠木 W=140 (一部 W=200)	既設のまま	R	軒天：フレキシブルボードt6 AEP	水洗い+NAD塗装
			S	屋根：着色耐酸アクリル被覆鋼板	水洗い+カシ(RB種)目荒らしササゲ掛けの上、高強度カシ塗膜防水密着工法

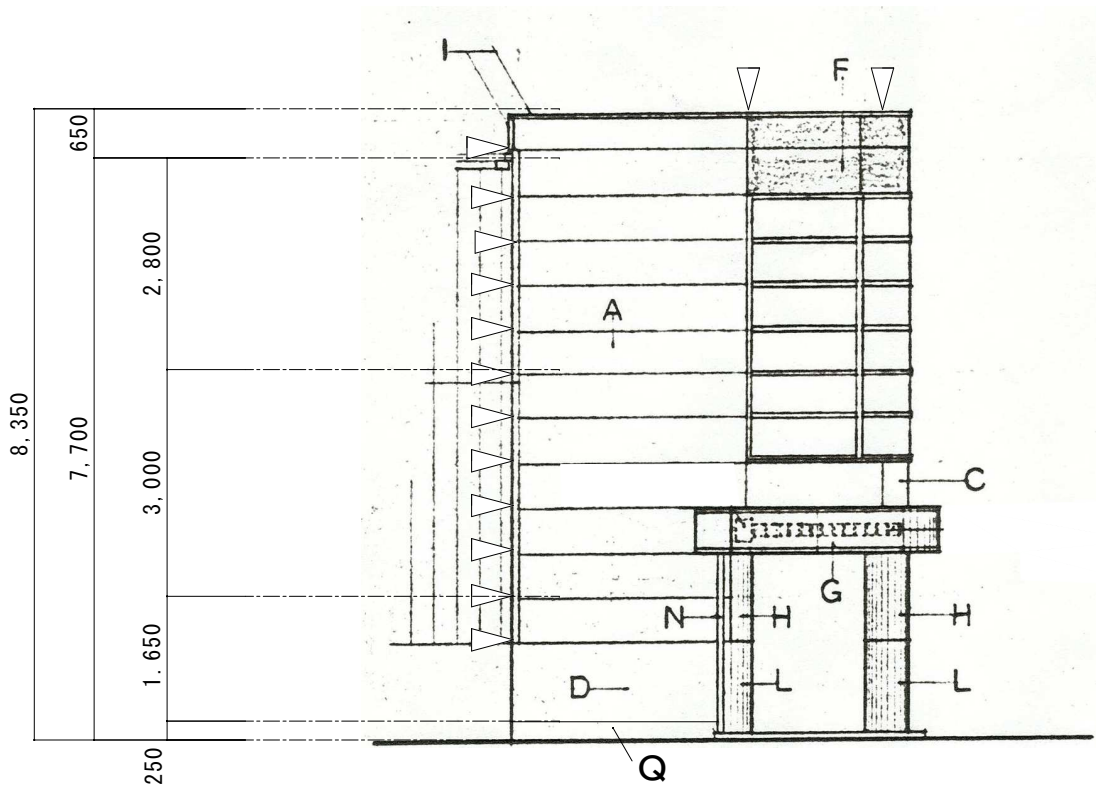
■照明器具・階段：設置のまま塗装可能な範囲まで塗り込む

■外壁面に付属する配管及びBOXについて
20φ以下程度の細物は外壁同仕様とする。

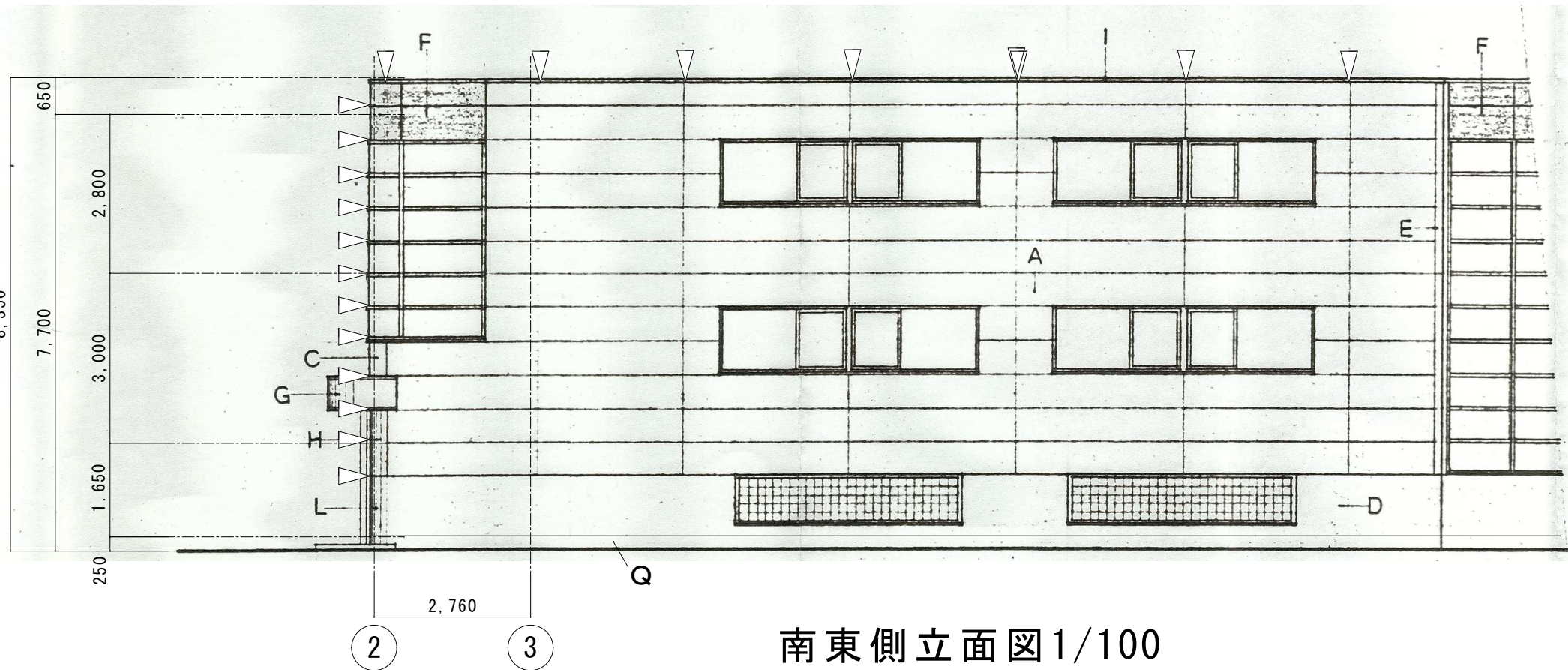
▽：シール打換え(PU-2)を示す



西側立面図1/100

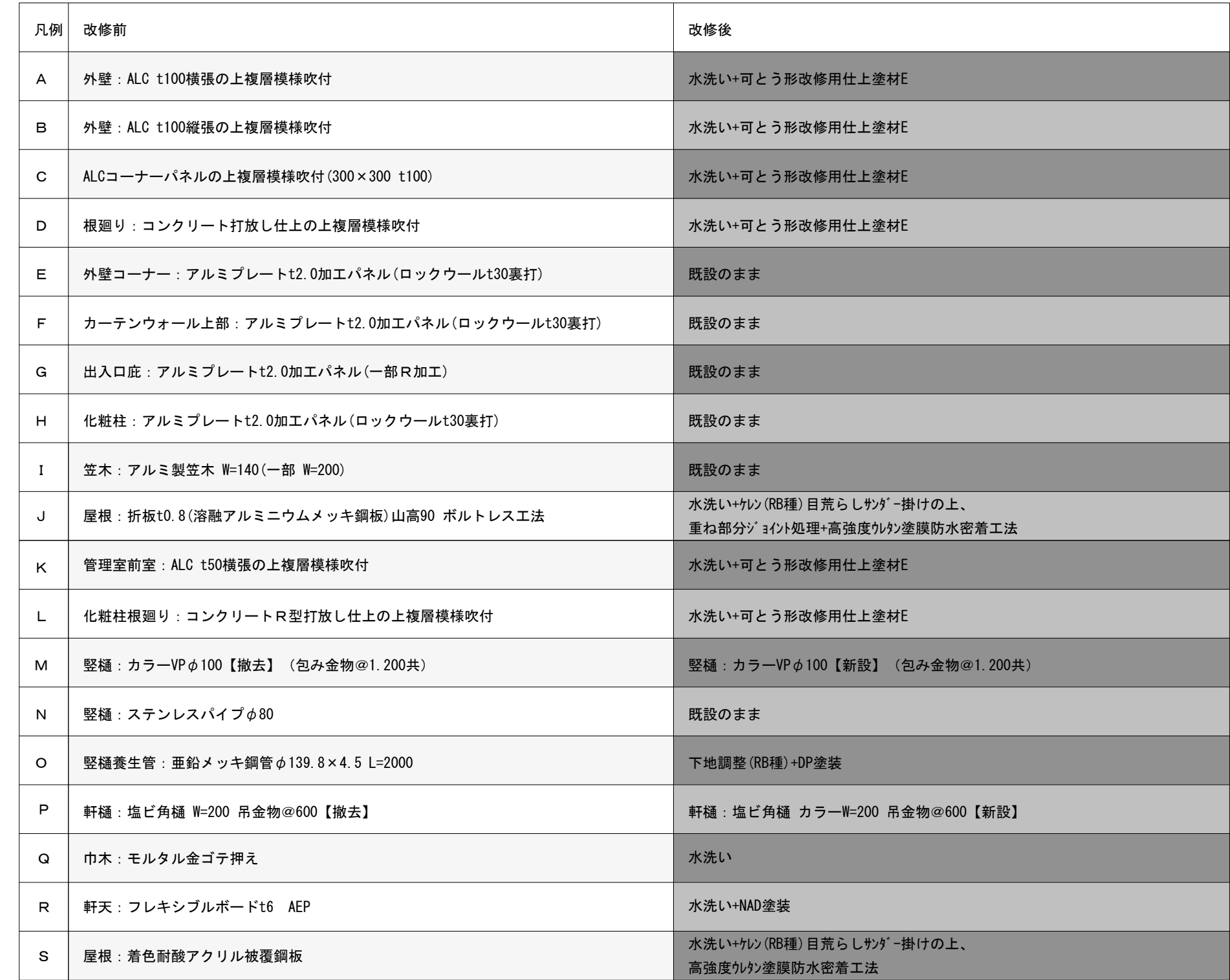


南側立面図1/100



南東側立面図1/100

近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事 工事設計図									
図 面 名	縮 1 : 100 1 : 尺 1 :	設計番号		課 長	課長補佐	係 長	担 当 者	図 面 番 号	
		作図 2026年 7月						A-14	
		四日市市都市整備部営繕工務課							一級建築士 登録 第 号 四日市市諏訪町1番5号



■外壁面に付属する配管及びBOXについて
20φ以下程度の細物は外壁同仕様とする。

・ ▼ : シーリング打替え (MS-2) 位置を示す

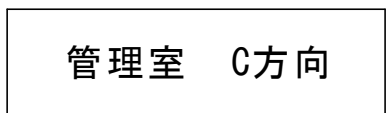
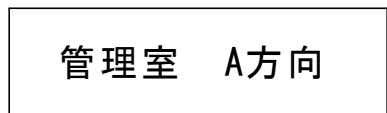
近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事 工事設計図

図面名	矩計図	縮 1 : 4 1 : 尺 1 :	設計番号	課 長	課長補佐	係 長	担 当 者	図 面 番 号
				作 図 2026年 7月				
四日市市都市整備部営繕工務課				一級建築士 登録 第 号 四日市市諏訪町1番5号				

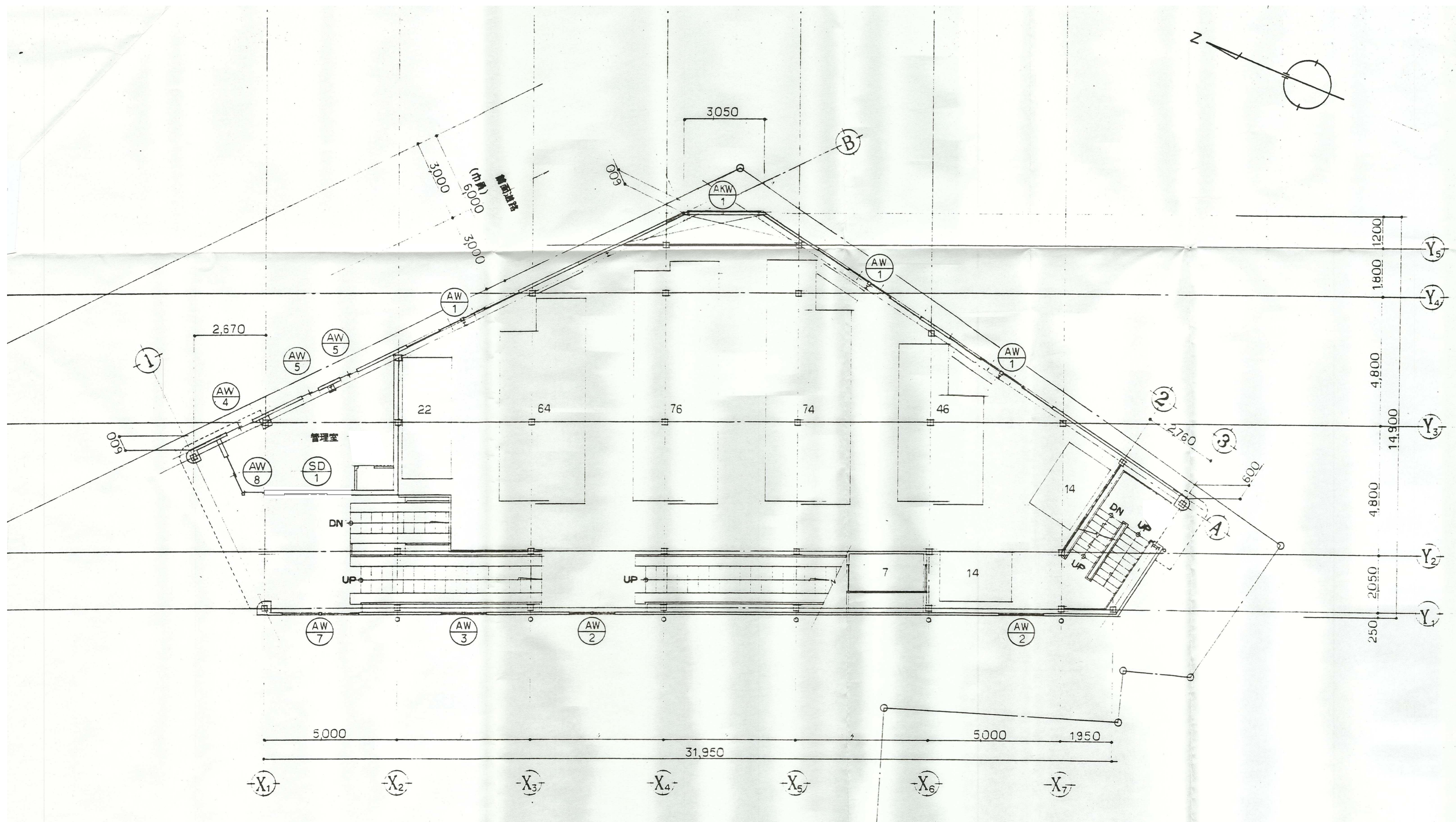
■照明器具・階段：設置のまま塗装可能な範囲まで塗り込む

■外壁面に付属する配管及びBOXについて
20φ以下程度の細物は外壁同仕様とする。

 : 塗裝範圍

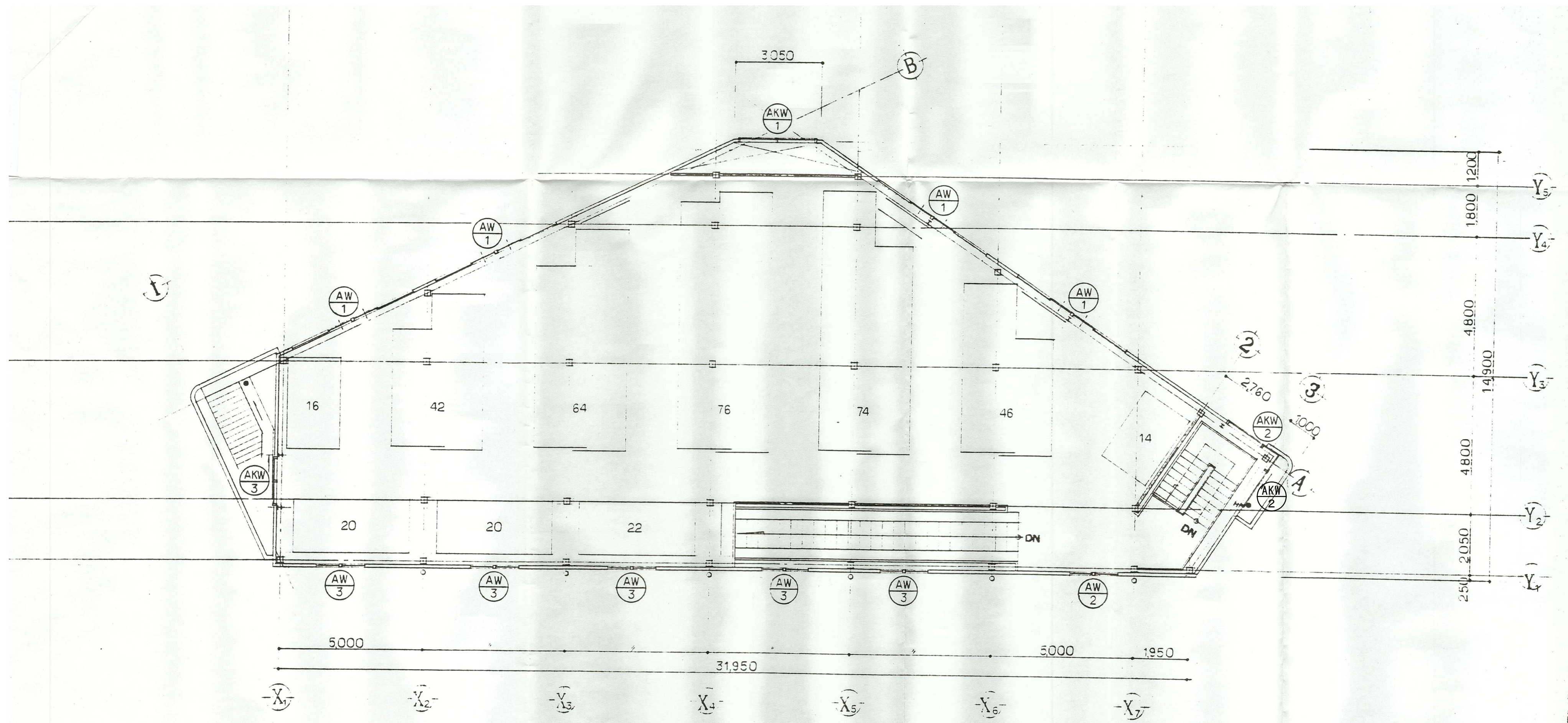


近鉄四日市駅北自転車等駐車場防水改修ほか工事 工 事 設 計 図								
図 面 名	展開図	縮 1 : 50	設計番号	課 長	課長補佐	係 長	担 当 者	図 面 番 号
		1 : 尺 1 :	作図 2026年 7月					A - 1 7
四日市市都市整備部営繕工務課				一級建築士 登録 第 号 四日市市園訪町1番5号				



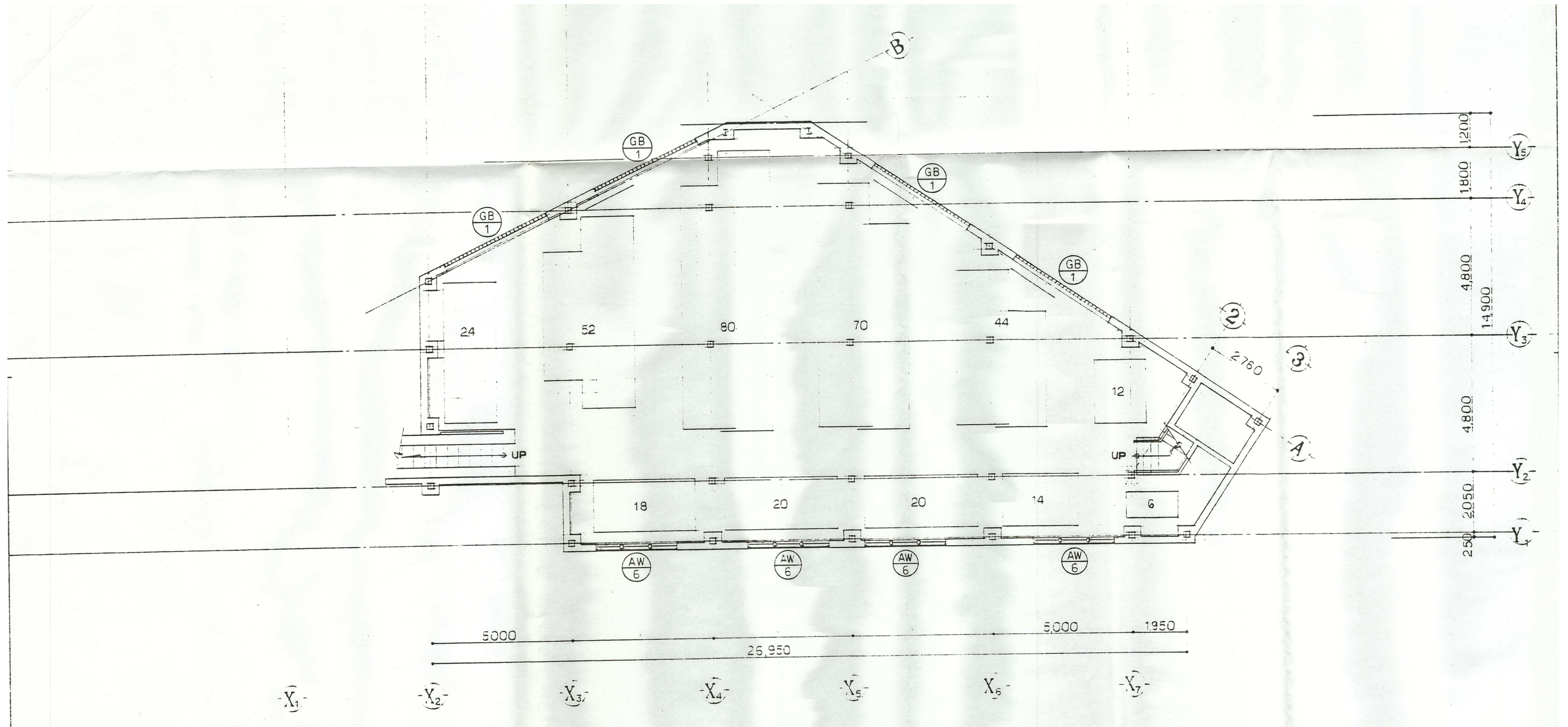
近鉄四日市駅北自転車等駐輪場防水改修ほか工事 工事設計図

図面名	1階建具キープラン	縮尺 1:100 1:1 1:1	設計番号		課長	課長補佐	係長	担当者	図面番号
			作図 2026年 7月						A-18
			四日市市都市整備部営繕工務課		一級建築士 登録 第 号 四日市市諏訪町1番5号				



近鉄四日市駅北自転車等駐輪場防水改修ほか工事 工事設計図

図面名	縮尺	設計番号	課長 課長補佐 係長 担当者				図面番号
2階建具キープラン	1:100						A-19
	1:	作図 2026年 7月					
四日市市都市整備部営繕工務課			一級建築士 登録 第 号 四日市市諏訪町1番5号				



近鉄四日市駅北自転車等駐輪場防水改修ほか工事 工事設計図									
図 面 名	地下1階建具キープラン	縮 1 : 100 尺 1 :	設計番号		課 長	課長補佐	係 長	担 当 者	図 面 番 号
			作図 2026年 7月						A-20
			四日市市都市整備部営繕工務課						一級建築士 登録 第 号 四日市市諏訪町1番5号

記号・場所・数量	AW1 駐車スペース7	AW2 駐車スペース3	AW3 駐車スペース6	AW4 管理室1	
姿 図					
形式	片引き窓	引違窓 + ハメ殺し窓	FD付スチールガラリ + ハメ殺し窓	引違い窓	
仕上	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	
シーリング打替	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	
備 考					
記号・場所・数量	AW5 管理室2	AW6 駐車スペース4	AW7 駐車スペース1	AW8 管理室1	
姿 図					
形式	引違い窓	内倒し窓 + 固定面格子	ハメ殺し窓	引違い窓	
仕上	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	
シーリング打替	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10内外共、水切W=15)	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	
備 考					
記号・場所・数量	GB1 駐車スペース4	AKW1 駐車場スペース1	AKW2 駐車場スペース（階段部分）2	AKW3 駐車場スペース1	SD1 管理室1
姿 図					
形式	ガラスブロック	カーテンウォール	カーテンウォール	カーテンウォール	片引き戸
仕上	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま
シーリング打替	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (四方W=10、水切W=15)	建具周囲：シーリング (MS-2) 打替え (三方W=10)
備 考					